

世界記録の樹木、 それは美しい歯並びから 生まれました。

「絶対デッドヒートの
斗末、世界記録を樹立
した米大リーグ、カージ
ナルスのマーク・マケウ
イヤ選手。ベースボール
ファンでない人でさえも、
いやへ世界で注目されな
がらも、「向のプレッシャ
ーを感じていないかのこ
とくホームランを連続し
ていったマケウイヤ。昨
はヤンキースのロジャー・
マリスが1967年にマ
ークした、61本のホーム
ランを更新、追撃するサ
ミー・ソーサ（カブス）
を振りきっての金本塁打
であった。最後の2試合で
は4本の四球打ちをして、
70本の太刀に乗せ、シー
ズンを終了。1998年
野球の歴史を塗り替えた
一帯である。
アメリカが生んだ天才
ア 約なホームランバッ
ターは、恵まれた歯科医
の息子として育った。幼
い頃から歯角を現したマ
ケウイヤは、野球の多
南カリフォルニア大学へ
進学。1984年にはロ
サンゼルスオリンピック

（当時公開雑誌）にも
出場し、翌年ドラフト1
位でプロ入りした。ま
に天才の前にはいつも輝
かしい音が聞かれていた
わけである。マーク・マ
ケウイヤが世界記録の62
号ホームランを打った時
彼の父親のインタビュ
が報道され、「歯科医の
父親は子どものマークの
歯の治療を丁寧に行った
」と紹介していた。「歯
をかみしめてガムバル」
これは野球選手も同じこ
と。瞬間にボールを判断
しバットを振りきる。こ
の集中力こそ、美しい歯
並びから生まれるものら
しい。



「日本人の歯並びにお
ける思い入れは、日本
人の比ではない。美しい
歯並びこそ、ステイタス
なのである。そのため
多額の費用を払って子ど
もの頃から矯正治療を行
なう。ヨーロッパでは、
大人が矯正装置をはめて
いる光景も、まれなこと
ではない。美的な印象も
大切だが、重要なのは、
かみ合わせを良くするこ
とで、脳への刺激を良く
する、プレッシャーを受
けた時への歯への衝撃の
緩和もある。野球選手は
歯が合。打撃のインパク
トの瞬間に歯を食いしば
る衝撃は大きい。だから
こそ、歯列矯正が要求さ
れるのである。マケウ
イヤの父親である歯科医
はその点を見通していた
のである。
日本の野球界の怪物、
松坂大輔もまた「メ
ジャー流」歯の矯正に幸

り出した。マーク・マケ
ウイヤが常に施していた
歯の矯正で、150キロ
の大腕がさらにパワーア
ップをめざす。世界のホ
ームラン王マケウイヤも
顔負けの歯の矯正術で、
日本の怪物は今年もまた、
野球シーンをより華やか
に盛り上げてくれること
だろう。緊張した表情か
らこぼれる「美しい歯並び」
この美しいこそ、新しい
記録へのファーストステ
ップなのである。

<http://www.ortho.gr.jp/>
〒460-0022
名古屋市中区金山1-1-11 ジャルダンシャポー 2F
TEL 052-321-5580
梶原矯正歯科クリニック
梶原 忠嘉

関連するホームページは
愛知県歯科医師会
<http://www.nhk-chubu-brains.co.jp/ad8020/>
日本矯正歯科学会
<http://www.jos.gr.jp/>
日本臨床矯正歯科医会
<http://www02.so-net.ne.jp/~hahaha/>